



アルファテックス株式会社

業種 情報・通信業 (ITサービス提供)

従業員数 131人 (2025年10月)

URL <https://www.alfa-teccs.co.jp/>

本社所在地 東京都品川区

取組の特徴

健康経営・チームビルディング等に向けた「新入社員研修」や「協定締結」による地域交流活動を導入



実施地域 森林サービス産業推進地域「[長野県小海町地域](#)」

受入組織 [憩うまちこうみ事務局](#)

実施概要

人が企業を支えているという考えのもと、①働きやすい職場の関係づくり、②社員のヘルスケア向上、③対話力・交流力・発想力の向上に向けて、小海町との協定締結を経て、新入社員研修や地域交流活動を実施。全社員の約6割の共通体験となることで社員の仲間意識の醸成や社員の個性把握に繋がり、人材採用面での他社との差別化に寄与している。

導入の経緯と決め手

- 社業が経理業務のアウトソーシングが中心で、クライアントに出向した社員間の交流が少なかったり、デスクワークが中心のため社員の健康増進が課題となっていた。
- 経営方針に①働きやすい職場の関係づくり、②社員のヘルスケア向上、③対話力・交流力・発想力の向上を位置付け、自然豊かな地方の自治体との連携を検討する中で、「憩うまちこうみ」のモニターツアーに参加し、事業コンセプトやプログラムに共感。
- 恵まれた自然環境や文化施設、非日常を味わえる適度な距離間（ハード面）と、小海町の人々の世話好き気質や官民一体的な町おこし意識（ソフト面）が、会社が求めるコアバリュー「[なかま意識](#)」の醸成と親和性が高いことから、協定締結に至る。



プログラムの構築とねらい・工夫

- 小海町に移住した創業者（会長）の講話で、企業理念の浸透や地域への親しみを育むとともに、健康経営の観点から「セラピーウォーク」等、チームビルディングに向けて「焚き火」「協働作業」等、社業がITを活用したサービス業であるため、お客様との対話を通じた共感性を伸ばすことが重要であるため「地域との交流」を設定。
- 小海町を自社の「ふるさと」にするべく、委員会を組織して地域活性化支援も取り組む。



プログラムの効果、担当者・参加者の声

[効果] 全社員の約6割が参加し、社員共通の話題となることで、縦・横を結びきっかけとなる共通体験となり、社員の仲間意識の醸成に繋がっている。ワーケーションを通して他部門の業務への関心を高められている。人材採用面でも他社との差別化になっている。

[担当者の声] 「非日常の環境であることで、心理的安全性を保ちながら対話ができおり、職場だけでは掴みきれない社員の個性把握、役員・幹部との関係性が構築できている。」

[参加者の声] 「自然の中で歩きながら対話することで、リラックスして交流を深められた。会議室での会議ではできない話がたくさんでき、横の繋がりが強固になったと感じた。」

「森のプログラム」導入事例

- ①新入社員研修（新入社員対象/2泊3日）
- ②中堅社員研修（中途採用者対象/2泊3日）
- ③地域交流活動（委員会によりオペラ開催やワイン製造等を支援）



プログラム事例

◆新入社員研修（新入社員対象/2泊3日）

日程	プログラム	ねらい・内容
1日目	松原湖セラピーウォーク	自然の中で五感を開き、頭と心をリフレッシュ。セラピストや町の方々との対話・交流を通じた関係性構築。
	研修ワーク（オリエンテーション）	解放された状態で研修ワーク（オリエンテーション）
2日目	ヨガセラピー	心と体とゆっくり向き合う時間。今の自分の状態を知る。
	農業体験	食の大切さを学ぶとともに、協働作業で仲間意識を強める。
	町職員との対話	町の人との対話で、想い・課題等を知り、町への愛着を持つ
	飯盒炊飯	慣れない作業を役割分担することでチームビルディング。
3日目	焚き火セラピー	焚き火を囲みながら、普段よりも深い対話を促進
	アートセラピー	描画による内面的な気付きを通じた自己・他者理解を促進。
	研修ワーク（まとめ）	3日間を通じた自身や仲間との関係性等の変化をふりかえり、まとめる。